

公共事業環境配慮書(案)

建設部 道路建設課

事業名称		
事業名	社会資本整備総合交付金	
整理番号	28-10	
事業の種類	道路(国道、県道、農道、林道)の新設・改築 及び街路の整備	
市町村名	長野市	
箇所名	一般県道 三才大豆島中御所線 北長池～大豆島	
事業年度	平成29年度～平成38年度	
事業概要		
目的	一般県道三才大豆島中御所線は、長野市の外郭をなす長野環状道路・東環状線の一部を構成する路線である。また、同じく環状道路を形成する国道18号「長野東バイパス」は、国土交通省が長野市街地の通過交通を円滑に処理し、渋滞の緩和と交通安全の確保を目的に整備を進めている。 当該箇所の道路改築事業は、周辺の道路整備と一体的に整備することで、渡河部に集中している交通の円滑化と安全性向上による沿道環境の改善や、周辺観光地や沿線に立地する工業団地などのアクセス向上による地域経済の活性化を図るものである。	
計画概要(延長・幅員・面積・工種など)	道路築造工 延長 L=2,050m 幅員 W=14.0(30.0)m	
関連する事業計画	防災・安全交付金(道路)事業 長野市落合橋北	
その他特記事項	なし	
関係法令等の規制		
自然環境保全地域等の指定状況	なし	
土地利用規制の状況	都市計画法の用途地域(第二種中高層住居専用地域) 都市計画法の用途地域(工業専用・工業・準工業地域) 都市計画法の用途地域(第一・二種住居地域) 都市計画法の市街化調整区域	
その他	なし	
社会的要素 留意すべき地域の概況		
交通の現況	交通量は18,849台/日である(平成22年度交通センサス) バス路線(川中島バス(長野～大豆島東団地～保科温泉))である	
土地利用の現況	市街地である 平野・田園である	
生活関連施設の現況	周辺に住居が集合している 周辺に長野県立長野東高等学校がある 周辺に信濃ひまわり幼稚園がある 周辺に長野共同高等職業訓練校がある	
その他	特になし	
自然的環境要素 環境配慮の方針		
大気環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【大気汚染の防止】	
	・交通流の円滑化により大気汚染、騒音、振動の発生を防止する。	
	・排出ガス対策型の車両や機械を採用する。	
	・土砂表層の散水や道路の散水、車両や機械の清掃等を行い粉じんの飛散を防止する。	
・資材等の運搬ルートは、居住系地域内の走行は出来るだけ避ける。		
【騒音、振動の防止】		
・低騒音・低振動型の建設機械を採用する。		
・夜間・早朝の資材運搬及び機械の稼働を出来るだけ避ける。		
【悪臭の防止】		
・想定される影響はない。		
水環境	留意すべき地域の概況	特になし
	【水質汚濁の防止】	
	・工事仮設事務所からの生活雑排水を適正に処理する。	
	【水循環の保全】	
・水田や地下水・湧水を保全する。		
地形・地質	留意すべき地域の概況	特になし
	【環境の保全上重要な地形・地質の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【改変面積の最小化】	
・地形の改変の少ない位置・ルート・工法を選定する。		
・工事施工ヤードの設置は必要最小限の面積とする。		

野生動植物	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然環境の保全上重要な地域の改変の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【野生動植物の生息・生育空間の保全】	
	・想定される影響はない。	
	【動物の繁殖期における影響の低減】	
	・想定される影響はない。	
景観	留意すべき地域の概況	特になし
	【すぐれた景観の保全】	
	・工事箇所の整理整頓・美化に努め、仮施設や資材置き場は目立ちにくい配置にする。	
	【良好な景観の育成】	
	・周辺地域の環境との調和に配慮した施設の配置・規模・形態・意匠・色彩・素材等を検討する。	
	【動植物への負担の少ない形状・素材の使用】	
	・想定される影響はない。	
自然とのふれあい	留意すべき地域の概況	特になし
	【自然とのふれあいの場への立地の回避】	
	・想定される影響はない。	
	【自然とのふれあい空間の創出】	
・想定される影響はない。		
文化財等	留意すべき地域の概況	特になし
	【文化財等への配慮】	
	・想定される影響はない。	
廃棄物・建設残土	【建設廃棄物や建設残土の発生抑制】	
	・建設副産物の発生を抑制する施設配置、線形、工法、資材などの採用に努める。	
	・建設廃棄物や建設残土の適正処理を行う。	
	【建設廃棄物や建設残土のリサイクル】	
	・現場発生材の原位置リサイクル等、建設廃棄物や建設残土のリサイクルを推進する。	
省資源・省エネルギー・温室効果ガス	【資源の有効利用】	
	・再生As合材、再生骨材、木材チップ、建設汚泥改良土等再生資材の利用に努める。	
	・信州リサイクル認定製品の利用を推進する。	
	【環境への負荷の少ない機械の利用等】	
	・低燃費型建設機械や省エネ機構搭載型建設機械を積極的に使用する。	
・アイドルストップ、エンジン回転数の抑制等機械の省エネ運転に努める。		
・点検整備を行い適正な燃費消費率を維持する。		
日照障害・電波障害・光害	【エネルギーの有効利用】	
	・LED照明、節水機器等の省エネルギー設備の導入に努める。	
	【日照障害への配慮】	
	・想定される影響はない	
	【電波障害への配慮】	
・想定される影響はない		
【光害への配慮】		
・照明の設置にあたっては照明の範囲、時間、照度、光源種類などに配慮し、周辺の生活環境や野生動植物、農作物等への悪影響を低減する。		